

第六十五回帝國議會
衆議院

原蠶種管理法案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

原蠶種管理法案(政府提出)

會議

昭和九年二月十九日(月曜日)午前十時二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 生田 和平君

理事横川 重次君 理事永田 良吉君

理事小山邦太郎君

青木 精一君 川手 甫雄君

加藤 知正君 助川啓四郎君

戸井 嘉作君 百瀬 渡君

戸田 由美君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官子爵 織田 信恒君

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

原蠶種管理法案(政府提出)

○生田委員長 開會致シマス、是ヨリ原蠶種管理法案ノ委員會ヲ開キマス、只今政府委員カラ提案理由ノ説明ガアルサウデアリマスカラ……

○織田政府委員 大臣ガ病氣缺席ノ爲ニ私カラ提案理由ヲ御説明申上ゲマス、近時人造絹絲ノ進出ガ著シキモノガアリマスト共

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

ニ、海外機業ノ進歩ニ伴ヒマシテ、益々優良齊一ナル生絲ヲ要望セラル、ニ至リマシテ、茲ニ生絲品位ノ向上ト生産費ノ低下トハ、我國蠶絲業ノ更生上、緊急ノ要務タルニ至ッタノデゴザイマス、生絲品位ノ優劣ハ、原料繭ニ依リ左右セラル、所多キノミナラズ、生絲原價ノ八割ハ、原料繭ノ價額デアリマスルカラ、原料繭ヲ改良致シ、其生産費ヲ低下セシムルコトハ、畢竟生絲品位ノ向上ト生産費ノ低下トヲ圖ル所以デゴザイマス、即チ我國蠶絲業ノ更生ハ、原料繭ノ改良統一ヲ基調トセネバナラスノデアリマスガ、原料繭ノ品質向上ハ、蠶品種ノ改良ニ依リ、繭質ノ均齊ハ、蠶品種ノ統制ニ俟タネバナラスノデアリマス、然ルニ現在我國ニ於ケル蠶ノ品種ハ、原蠶種ニ於テ既ニ其數約六百種ニ達シ、雜駁混淆ヲ極ムルト共ニ、優良生絲ノ生産ニ適セザル品質不良ノモノモ尠クナイノデアリマス、而シテ之ガ爲メ蠶種製造者ハ蠶種ノ過剩ニ苦ミ、其經營ヲ困難ナラシムルト共ニ、徒ニ新品種ノ育成ニ専念致シマシテ、爲ニ益、其雜駁ヲ招來シ、養蠶者ハ之ガ爲ニ蠶種ノ取捨

選擇ニ惑フノミナラズ、品種ノ性狀明カナラザル爲メ、飼育上ニ齟齬ヲ來スコトヲ免レヌノデ、勢ヒ作柄ノ不安定ト出費ノ増大ニ惱ミツ、アルノデアリマス、製絲業者モ亦原料繭ノ雜駁ニ伴フ繰絲能率ノ減退ト、生絲品質ノ不齊ニ苦ミツ、アルノデアリマシテ、此狀態ヲ以テシテ、繭絲類ノ生産費ノ低下ト品質ノ向上トヲ望ムコトハ不可能デアリマス、加之今後我國蠶絲業ハ、各業ニ互リ統制的施設ヲ講ズルコトノ必要益、切實ナルモノガアルノデアリマスガ、就中蠶絲業ノ根源ヲ爲ス蠶種ニ付テ、適當ナル統制ヲ圖リ得ル制度ヲ樹ツルコトハ焦眉ノ急務デアリマス、政府ハ從來優良品種ノ選出育成ニ努ムルト共ニ、原蠶種ノ製造配付ヲ爲シ來ッタノデアリマスガ、現行制度ノ如ク、蠶種製造者ニ原蠶種ノ製造ヲ認め、且ツ蠶種ノ輸入ヲ自由ト爲スニ於テハ、到底所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデゴザイマス、是ニ於テ政府ハ今般雜駁ナル蠶品種ヲ整理シ、優良品種ノ普及ニ依リ、繭絲類ノ生産費ノ低下ト品質ノ改善トニ資スルト共ニ、蠶絲業ノ非常時ニ際シ、蠶種

ノ統制ヲ期シ得ベキ制度ヲ樹立スル爲ニ、原蠶種管理法ヲ制定シ、原蠶種ノ製造ヲ國家ニ於テ管理スルト共ニ、必要ニ應ジ蠶種ニ關スル統制施設ヲ行フノ權限ヲ留保セントスルモノデアリマス、而シテ本案ノ骨子トスル所ハ

一、原々種ハ政府ニ於テ專ラ製造シ、之ヲ道府縣竝ニ自家用原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ配付スルト致シタ點デアリマス

第二ガ、道府縣ヲシテ政府ノ配付シタル原々種ヲ用ヒテ原種ヲ製造致シ、之ヲ蠶種製造者ニ配付セシメルノデアリマス

第三ハ、蠶種製造者ニシテ特ニ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル者ハ、政府ヨリ直接原種ヲ配付ヲ受ケ、自家用原種ヲ製造スルコトヲ得ルモノト致シタコトデアリマス

第四ハ、蠶種製造者ハ、道府縣ノ配付シタル原種、又ハ自家用原種製造ノ許可ヲ受ケ製造シタル原種ヲ用フルニ非ザレバ、普通蠶種ヲ製造スルコトヲ得ザルト共ニ

第五トシテ、普通蠶種ノ製造ニ當ッテハ、農林大臣ノ定メタル交配形式ニ依ルベキモ

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

第六類第十二號 原蠶種管理法案委員會會議錄 第二回 昭和九年二月十九日

ノト致シタノデアリマス

第六ガ、蠶品種審査會ヲ設置致シテ、農林大臣ガ原種ノ品種及ビ普通蠶種ノ交配形式ヲ定メントスルトキハ、右審査會ノ議決ヲ經ルコトヲ要スルモノトシタ點デアリマス

第七ガ、更ニ蠶種ノ輸移出入ヲ許可制度ト致シタコトデアッテ

第八ガ、尙ホ蠶種ノ統制ニ關シ、營業者ノ自治的方法ニ依リ十分ナル效果ヲ期シ得ザル非常時ニ於テハ、之ニ對シ統制ヲ命ジ得ル權限ヲ保留致シマシタ

第九ガ、本法ノ制定ニ伴ヒ、蠶絲業法中必要ナル改正ヲ行フコト、致シタノデアリマス

何卒速ニ御審議ノ上可決セラレンコトヲ切望致シマス

○百瀬委員 私ノ當局ニ對スル質問ノ要點ハ、先日ノ本會議ニ於キマシテ、第一ヨリ第八マデヲ御答辯願フコトニ要望致シテ置イタノデアリマスルガ、本會議ニ於テハ御答辯ガアリマセヌデシタカラ、此委員會ニ於テ御答辯ヲ煩シタイノデアリマス、尤モ一ヨリ八マデノ中ニハ、私ヨリ先ニ加藤議員ヨリ質問サレタ要旨ト重複スル點モアリマスルノデ、既ニ御答辯ニナッテ居ル條項

モアルノデアリマスルガ、當日ノ御答辯デハ餘リニ抽象的デアッテ、不明ノ點モ少クナイノデアリマスルカラ、此機會ニ於キマシテ、イマ少シ具體的ノ御答辯ヲ併セテ要望致シテ置キタイと思ヒマス

○織田政府委員 過日百瀬君カラ本議場ニ於テ御質問ガアリマシテ、委員會ニ於テ御答申上ゲルヤウ御答申シテ置イタ次第デアリマス、一應私カラ御質問ノ諸點ニ付キマシテ御答致シマス、尙ホ詳細ハ蠶絲局長カラモ細カク御説明申上ゲテ宜シイト思ヒマスガ、一應私カラ申上ゲテ置キマス

御質問ノ第一ハ、蠶品種選定ノ方針如何ト云フ點デアルト思ヒマス、原蠶種ノ管理實施後ニ於キマスル蠶品種ノ選定ハ、御質問ノヤウナ點ヲ考慮致シマシテ、絲質本位、能率本位、何レヨリ見マスルモ適當ナル品種ノ選定ヲ致ス方針ヲ以テ、蠶品種審査會ニ諮リマシテ是ガ決定ヲ爲ス方針デゴザイマス

第二ハ、蠶繭處理ニ遺憾ナキヲ期スル目的ヲ以テ、蠶繭ノ國家管理ヲナス爲メ、近ク蠶繭法ヲ制定セントスルノ意思アルヤ、又他ノ方策ヲ實行スル考ナリヤト云フ御質問ダト思ヒマス、右ニ對シマシテハ、蠶繭法ノ内容ヲマダ存ジ居ラナイノデゴザイマ

スルガ、昭和二年大日本蠶絲會カラ、同會評議員ノ決議ヲ以チマシテ建議セラレタルモノニ依リマスルト、當時ノ丁度米穀法ニ做ヒマシテ、政府ニ於テ繭ノ買上及ビ賣却ヲ爲サントスルモノデゴザイマス、斯ノ如キハ繭ガ米穀ト違ヒマシテ、性質上長期ノ貯藏ニ耐ヘマセヌバカリデナク、取扱等ニ幾多ノ困難ガゴザイマスノデ、是ガ實施ニ付キマシテハ、尙ホ慎重ノ考慮ヲ要スルコト、存ジマス、而シテ差當リ應急對策ト致シマシテ、乾繭共同保管助成ノ目的ヲ以チマシテ、總豫算ニ於テ百五萬圓ノ經費ヲ計上シ、御協賛ヲ仰ギマシタノデアリマスルガ、更ニ最近ノ事情ニ鑑ミマシテ、追加豫算ニ於テ是ガ増額ヲ致シタキ考ヲ以テ、目下大藏省ト協議中デゴザイマス、差當リ右ノ施設ヲ以テ繭取引ノ圓滑ヲ圖ラウト思ッテ居リマス

第三ハ、生絲販賣統制ニ關スル法律案ヲ、

近ク議會ニ提出スル意思アルヤト云フ御質問ダト思ヒマス、右ニ對シマシテハ、輸出

生絲販賣組織竝ニ取引方法ノ現狀ハ、取引ノ公正圓滑ヲ期シマスルノニ遺憾アルバカリデナク、延テハ絲價ノ安定ヲ阻害スル虞ガアリ、且ツ本邦蠶絲業ニ及ボス影響ガ重大ナルヲ以チマシテ、目下改善統制方策ニ

關シ、輸出生絲販賣統制調查會ニ於キマシテ慎重ニ攻究中デゴザイマス、其成案ヲ急ギツ、アル實情デアリマス

第四ハ、絹絲ノ新規用途ニ對スル萬全ノ策ヲ施サントスルノ意思アルヤト云フ御質問ダト思ヒマス、右ニ對シマシテ、絹絲類ノ新規用途ニ付キマシテハ、大ニ研究ノ必要ヲ認メ、從來各方面ニ政府買收生絲ノ拂下ヲ致シマシテ、是ガ促進ヲ期シツ、アルノデゴザイマスガ、更ニ昭和九年度追加豫算ニ、蠶繭類ノ新規利用研究ニ關スル經費ヲ計上致シマシテ、蠶業試驗場ヲシテ是ガ研究ヲセシムル計畫ヲ以テ、目下大藏省ト折衝交渉致シテ居リマス

第五ガ蠶絲業ニ對スル特殊ノ金融機關設置ノ意思アリヤト云フ御質問デアリマス、蠶絲業ノ金融制度ヲ整理致シマスルコトハ、最モ緊要ト認メマスノデゴザイマスルガ、是ガ爲ニ特殊金融機關ヲ設置シタコトガ宜イカドウカト云フコトハ、尙ホ考究ノ要ガアルト思ッテ居リマス

第六ガ蠶絲業ニ關スル教育施設ヲ擴大シテ、絹織物ニ關スル課程ヲ教育課目トシテ加ヘル意思アリヤ否ヤノ御質問デアリマス、本件ハ文部省所管デゴザイマスガ、現在ノ教育制度ニ於キマシテハ、機械及ビ染

色等ノ課程ハ、工業學校ニ於テ之ヲ教育致

シテ居リマス、而シテ蠶絲ニ關スル學校ニ
是等ノ課程ヲ加ヘルコトニ付キマシテハ、

目下考慮セラレツ、アル模様デゴザイマス

第七ガ、絹織物消費稅撤廢ノ意思アリヤ、

是ハ加藤サンカラノ御質問ト同一デアリマ
スルガ、其時御答致シテナカッタウデ、絹

織物ノ消費稅撤廢ハ生絲需要ノ増進上效果

ガアルト思ヒマス、併ナガラ一方財政上ノ

都合等ニ付キマシテモ、尙ホ十分考慮スル

必要ガアルト存ジテ居リマス

第八ハ、蠶種課稅撤廢ニ對スル政府ノ方
針如何ト云フ御質問デアリマス、蠶種ハ養

蠶ノ根源ヲ爲スモノデゴザイマスカラ、種

繭ニ雜種稅ヲ設定スルコトハ、一般的ニ妥

當デナイト認メマスルガ、静岡縣ノ實際ニ

付キマシテハ、或ハ地方的事情ヲ相當考慮

スルノ必要アルト認メマシテ、關係者ニ對

シテ此趣旨ヲ以テ折衝中デゴザイマス、右

御答致シマス

○生田委員長 百瀬君、今ノ質問ニ對スル

御答ハ、ソレデ宜シイノデスカ

○百瀬委員 只今ノ御答辯ダケデハ満足致

シマセヌ、尙ホ私ハ御尋シタ要點ガ、政策

ニ觸レテ居ル點ガ大分アルノデアリマシ
テ、大臣ノ御出席ヲ待テ重ネテ御質問申

上ゲタイト存ジマスカラ、此場合ハ他ノ委

員諸君ニ御譲リヲシテ置キタイト思ヒマス

○加藤委員 私モ政策問題ニ付キマシテ、

十分政府當局ニ御尋ヲ致シタイト考ヘテ居

リマスガ、併シ大臣方御出席ガナイカラ、

何レ御出席ノ上ニ致シタイト考ヘテ居リマ

ス、本日ハ私ト致シマシテハ、參考書類ノ

御提出ヲ二、三御願致シタイト考ヘテ居リ

マス、ソレハ原蠶種國家管理ニ要スル計畫

豫算書ト云フモノガ、若シ出來テ居リマシ

タナラバ御提出ヲ願ヒタイト思フ、ソレカ

ラ優良蠶種ノ調査ニ關スル成績表ガアルト

思ヒマス、只今御配付ニナリマシタ原蠶種

國家管理ノ概要デハ、蠶種ニ關スル統計ト

云フモノガ出テ居リマスルケレドモ、只今

申上ゲマシタヤウナモノハ、之ニ記載シテ

ナイヤウニ思ヒマスカラ、ドウカ此優良蠶

種ノ調査ガ必ズアラネバナスト思ヒマス

カラ、其調査書類ヲ御出シヲ願ヒタイト思

ヒマス、ソレカラシテ爲替相場ト生絲相場

ノ關係ニ付テ、定メシ調査ガ出來テ居ルト

思ヒマスカラ、ソレモ此際御提出ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス、ソレカラシテ今回ノ此法律案

ハ、勅令ニ依ル點ガ大分ゴザイマスカラシ
テ、此勅令案ノ御提出ヲ一ツ御願致シタイト

思ヒマス、私ノ要求スル書類ハ以上デアリ

マス

○横川委員 私モ政府ニ參考書類ノ提出ヲ

要求致シマス、只今ノ加藤君ノ御要求ニナッ

タモノト重複スルモノガアリマシタナラ

バ、除イテ戴キマス、第一ガ、昭和八年度

ノ產繭ニ付キマシテ、春、夏、秋、ソレゾ

レノ生産費及ビ其平均、之ヲ府縣別ニ御願

シタイト思ヒマス、ソレカラ第二ハ、全國

ノ產繭處理ノ現狀ニ付キマシテ、其方法ガ

各樣デアリマスルガ、其種類及ビソレガ量

別、及ビ各處理ノ種類ニ依リマシテノ價格

ノ平均別ヲ御示シ願ヘレバ結構デアリマス

第三ハ、製絲金融ノ狀態、種類別、及ビ

金額別、及ビ繭繭資金ノ消化、辨濟ノ狀態

等、第三ノ問題ハ遲レテ宜シウゴザイマス

ガ、數年ニ亙ッテノ狀態ヲ御示シ願ヘレバ

結構デアルト思ヒマス、第一、第二ハ、成

ベク早く御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

○生田委員長 一寸此際御相談致シマス、

此問題ハ非常ニ重要性ヲ帶ビテ居ルノデア

リマシテ、各委員ニ於テハ無論大臣ノ御出

席御答辯ヲ求メル意思ガ十分アルト思ヒマ

スガ、遺憾ナガラ御病氣デアリマスカラ致

シ方ガアリマセヌ、次ノ會ハ成ベク大臣ノ

御出席ヲ願ヒタイト考フ有ッテ居リマス

○井野政府委員 先程加藤委員ト横川委員

カラノ參考書ノ御要求ニ付キマシテハ、出

來ルダケ御要求ニ應ズル書類ヲ作リマスガ、

唯昭和八年度ノ產繭、春夏秋蠶ノ生産費調

査デゴザイマスガ、是ハ目下當局ニ於キマシ

テハ、養蠶ノ實態調査ヲヤッテ居リマシテ、

ソレガ出來マスと割合ニ正確ニ分ルノデア

リマスガ、今日出來テ居ルモノハ、マダ團體

ノ調査ヨリゴザイマセヌカラ、左様御承知

ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ其外ノモノニ

付キマシテモ、分ッテ居リマス程度ノモノダ

ケハ、出來ルダケ差上ゲルコトニ致シマス

○戸田委員 一寸簡單ニ最近新聞ニ現レマ

シタ事柄ニ付テ、後ノ審議ノ便宜上御伺ヲ

シタイトコトガアルノデアリマス、一昨日カ

ノ新聞ト思ヒマスルガ、政府ハ今後ノ農林

豫算ニ關スル財源ノ捻出ノ爲ニ、例ノ滯貨

生絲ノ處分ヲ、或ル年度内ニ順次或ル數量

拂下セラレルト云フヤウナコトが見エテ

居ッタノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ御計

畫ガ事實アリト致シマスレバ、其内容ノ大

要ヲ此際一通リ、簡單デ宜シウゴザイマス

ガ、御説明ヲ願ッテ置キタイト思フノデゴ

ザイマス

○井野政府委員 蠶絲對策ヲ致シマス爲

ニ、特ニ財源ヲ得ル目的ヲ以チマシテ、政

府ノ所有生絲ヲ賣ルト云フ考ハナイノデゴ

ザイマシテ、唯法律ニ規定ガゴザイマスヤ

ウニ、政府ノ持ッテ居リマスル生絲ハ、新規

用途若クハ新販路以外ニハ絶對ニ賣レナ

イ、併シ其範圍ニ於キマシテハ、御承知ノ

如ク政府モ相當生絲ヲ持ッテ居ルノデゴザ

イマスシ、之ヲ永年貯藏シテ置キマスコト

ハ、國家經濟上カラ見マシテモ考ヘナケレ

バナリマセヌノデ、民間生絲相場ヲ壓迫ス

ルコトナシニ、サウ云フモノガ處分シ得ラ

レ、バ非常ニ結構ト考ヘマシテ、吾々ハ今

後モ其方面ニ向ッテ、其生絲ノ販賣ヲ考ヘテ

行キタイト云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデア

リマス、唯ソレヲ實行シマス上ニ於キマシ

テ、今日ノ法律デハ、生絲ヲ賣リマシタ金

ガ、減債基金ノ方ニ入ルト云フコトニナッ

ア居リマス、ソレヲ出來マスナラバ、此際

一般會計ノ方ニデモ入レテ、成ベク新規ノ

事業ヲヤル財源ニ、ソレガ使ヘレバ結構ダ

ト考ヘテ居ルノデアリマス、併シソレ等ハ

目下大藏省ト交渉中デゴザイマスカラ、マ

ダ其内容ニ付キマシテハ申上ゲル機會ニ

ナッテ居リマセヌ、何レ他日申上ゲル機會

ガ出來ルト考ヘテ居リマス

○生田委員長 本日ハ此程度デ散會致シタ

イト思ヒマス、次會ハ公報ヲ以テ申上ゲマ

午前十時五十四分散會

思ヒマス